

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表・児発)

公表：平成31年3月1日

事業所名 スタジオそら喜多見

保護者数(児童数)30名 回収数20 割合 69%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	7	0	0	・個別で3人だと狭く感じる。人数が多い時には十分なスペースとは言えない。 ・走り回ったりするので、もう少し広げれば、なお良いと思う。	制限がある中で、どのような活動が効果的か都度検討していく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	5	0	1	・専門性の高い方もいるが、そうでない人もいる。	専門的な療育知識やビジネスマナーについても社内教育していく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	3	0	1	・ベビーカーで出向かなければならないとき、必ず階段を上らないといけなくて、苦労します。また、自転車を置くスペースに雨よけがあると嬉しいです。	ベビーカーの上げ下げはスタッフが対応するので、その旨を周知する。駐輪スペースの雨よけ設置はビルのオーナーの意向となるため難しいかもしれない。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	12	5	3	0	・建物の老朽化なのか配管から異臭がする時がある。 ・時々においが気になる時があり、換気などもよくしてほしい。	日々の清掃および月一回の全体清掃、ビル管理会社による貯水槽の洗浄を継続的に行っていく。
適切な 支援の内容	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	4	1	0	・前回の計画書からあまり変化がないことがあった。	半年に一度年間計画を見直して都度更新を図っているが、変化した目標に対して細かく説明を行っている。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	4	0	5	・児童発達支援ガイドラインを見たことがありませんので、その中から適切に選択されているかわかりません。	年間計画をご説明させていただいた際に、ガイドラインの重要事項である「5領域」に関する説明を行っている。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	19	1	0	0	・きちんとやっていたらいい。	更に専門性を高めていけるよう社内教育していく。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	15	4	1	0	・子供が飽きないよう工夫してくれている。 ・子供や親の意見も取り入れてくれている。	その日のお子様のご様子に対して臨機応変にプログラムメニューを変更できるよう努めていく。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	3	3	10	4	・家庭ではそういう機会を作っているが、施設側ではなかなか難しいのではないかと。できるのであれば、どのような方法なのか知りたい。	幼稚園の先生や市区町村の福祉係の方々からの見学を受け入れ、情報の共有を図っている。
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	16	4	0	0	・利用開始時に説明がありました。	継続して、支援の充実を図る。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援の説明がなされたか。	15	3	1	1	・十分に丁寧な説明がある。	ガイドラインの周知をしていくとともに、年間計画について説明していく。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)行われているか。	3	6	10	1	・ペアレントトレーニングを受けられるとより有難いです。	時間・場所の制約があるため、継続的に行うことが出来ていない。研修等での資料を掲示・配布して対応していく。
	⑬ 日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	15	4	0	1	・毎回、クラス終了後にフィードバックが丁寧に行われていますが、療育者が保護者側に最近の様子などを聞くような時間が時々あってもいいと思います。	時間が限られている中でフィードバックとなるため、スタッフからも率先してそら以外でのご様子をお伺いするよう努めていく。

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	11	3	4	2	・半年に一度。あとは都度都度話をする形になっているが、職員の方全体に話が通じているのかは、確認できていない。	面談およびフィードバック時でお伺いした情報はスタッフ間で共有している。 継続して、支援の充実を図る。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	1	3	10	5	・保護者が望む割合が多いようであればあってもよいのかもしれませんが。	皆様が複数の地域からお越しいただいていることもあり、ニーズは少ないように感じられる。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	12	3	1	4	・随時、通所時に申し出ても対応してまいります。	継続して、支援の充実を図る。
	⑰	子どもの保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	14	2	0	4	・活動後のフィードバックがメインであるため、情報伝達という意味ではやや疑問。	面談・フィードバック時にお子様の様子、保護者様のニーズ等をお聞きしているが、それ以外のご様子をお伺いする等の情報共有に努めていく。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	14	4	1	1	・HPIにイベントや活動内容・発達について発信している。	継続して、支援の充実を図る。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	17	1	0	2	・注意します、という話は受けている。	細心の注意を払い、関係機関とのやり取りの中で最低限の情報共有のみ行っている。 継続して、支援の充実を図る。
非常時の対応	⑳	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか。また発生を想定した訓練が実施されているか。	16	2	0	2	・待合室に掲示されています。また、訓練もあります。	各種掲示物を保護者スペースに貼り出して周知を図る。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1	0	2	・防災頭巾、ヘルメットの着用をされています。	年に2回「避難訓練月間」を設けている。室外活動中の避難などバリエーションを増やしていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1	0	0	・先生や友達の名前を覚え、楽しみにしている。	継続して、支援の充実を図る。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	15	5	0	0	・療育士のスキルにバラつきがある。 ・子供の成長を実感している。	退職・人事異動等があり人員の入れ替えもあったが、社員研修等にて療育の質の向上を図っている。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様(「保護者向け児童発達支援評価表」)により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。